

## 総会宣言 (案)

岸田政権は法的根拠もなく、国会にはかることもなく、安倍元首相の国葬を9月27日に行いました。「国葬反対」の声は日増しに高まり、「あまり賛成できない」を含めると八割近くの国民が反対したにも関わらず、閣議決定のみで国葬を強行したのです。当初2億4千万円かかると言われていた国葬費用は、弔問外交を見込んで16億6千万円にまで膨れ上がり、裏ではさらに巨額の費用がかかったとも言われています。私たちの税金の使い道として、これほど無益で無計画なものはありません。

襲撃事件により、安倍元首相と旧統一教会との腐敗した結びつきが露わとなりました。安倍元首相は共産主義、ジェンダー平等、LGBTQを「偏った価値観」と位置づけ、それらを撲滅するため旧統一教会を利用してきました。長年にわたる黒い癒着に対し、国民からの批判が高まっています。にもかかわらず、岸田政権や自民党は曖昧な対応で批判の声を封じ込めようとしています。

ウクライナではロシアによる無法な侵略が今も続いています。岸田政権は、日本が軍備増強しないとウクライナと同じ状況に陥ると称し、国民をあまり混乱させています。中国、ロシア、北朝鮮の脅威に対抗する「抑止力」として反撃能力を上げる必要性をうたい、軍事費を倍増し、改憲を推し進めようとしています。物価高に喘ぐ国民の生活を犠牲にし、米軍とともに「戦争のできる国づくり」へと猛進する岸田政権を許すわけにはいきません。

私たちは国民に目を向けず、聞く耳を持たず、憲法9条の改悪を急ぐ岸田政権に押し流されてはならないのです。青年女性が先頭に立ち、憲法改悪に徹底的に反対し、職場から闘わなければなりません。同時に、プーチンの戦争に反対し、ウクライナやロシアで反戦を掲げ、闘う労働者とも連帯し、平和のために声を上げ続けることを決意し、総会宣言とします。ともに頑張りましょう。

2022年10月7日

石川県平和運動センター青年・女性部

## 石川県平和運動センター青年・女性部

### 第20回定期総会



2022年10月7日(金)

石川県地場産業センター

本館3階 第6研修室